

# 大学生と農山漁村との連携事例



関西学院大学、外

実施主体名: Re.colab KOBE(リコラボコウベ)

担当窓口

神戸発、学生主体の自然再生プロジェクト団体  
Re.colab KOBE(リコラボコウベ)

URL

<https://recolabkobe.com/>



## 活動内容

関西学院大学の学生が中心となった学生団体「Re.colab.KOBE（リコラボコウベ）」が、神戸市北区の山あいにある耕作放棄地を借り受け、「リコラボファーム」として農業・農村の再生を目指す活動を展開している。

環境にやさしい持続可能な農業を通じて地域社会に貢献するため、これまでに、クラフトビールの原料となる大麦、様々な野菜やそばを栽培し、栽培したそばをそば粉に加工してこども食堂へ提供し、食育活動にも積極的に取り組んでいる。

また、空き家を再生した拠点地域交流の場として活用するなど、持続可能（SDGs）な社会再生の取り組みを実践している。



## きっかけ

前身は、関西学院大学社会学部の教員と学生が身近な環境問題を考え行動する団体「さとまちフェローズ」。当団体が新型コロナウイルスの影響で活動休止を余儀なくされ、その後の影響緩和により日々の街歩きなどから神戸市の方々と出会うきっかけがあり、前身の理念を引き継ぐとともに、2021年にリコラボコウベを結成し本格的な活動を開始した。



## 展望

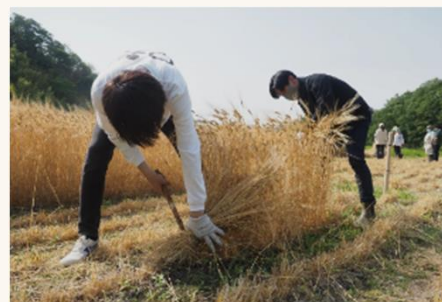
里山・里海保全活動等を通して「人と自然」を繋げ、どこにでもいる普通の大学生が無理なく、楽しさを重視しながらも環境問題へ立ち向かう姿を発信することで、世界規模の環境問題を自分事として捉え、生活の中で意識する日を一人でも多く生み出す活動を行っていききたい。



リコラボファーム



イベントの様子



収穫の様子



子ども食堂での食育